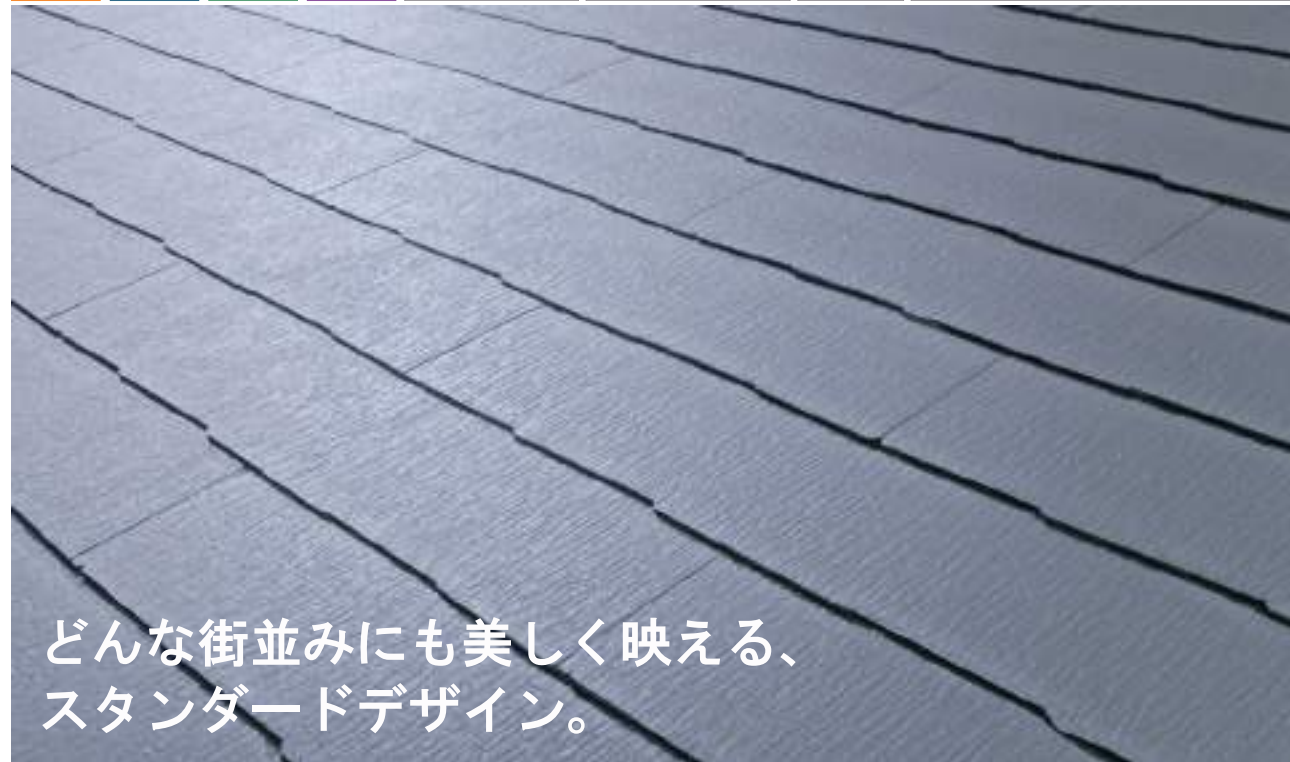


コロニアルクアッド

耐候性グレード ★★	保証 製品 本体	厚み 5.2mm	1坪当たりの重量 約68kg	一般名称 平形屋根用スレート5.2 (一文字)	適用地域 一般施工地域 ○ 積雪施工地域 ○ 施工不可地域 ×	不燃材料認定番号 NM-2093	屋根30分耐火構造 FP030RF-1935-1 (硬質木片セメント板18mm以上)	平成12年建設省告示第1399号 (平成30年改正)
---------------	----------------	-------------	-------------------	-------------------------------	------------------------------------	---------------------	--	-------------------------------



商品ラインナップ

アクリルコート仕上げ



CC262W ネオ・ブラック



CC275PW パール・グレイ



CC225PW シルバー・ホワイト



CC241W ウォルナット・ブラウン



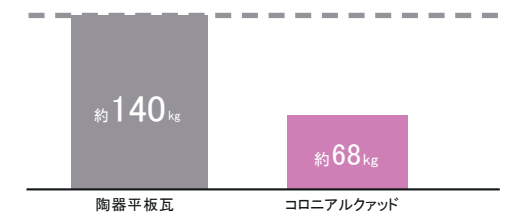
CC226AW ミッドナイト・ブルー

災害からまもる

■地震時の住まいの揺れを抑える軽い屋根材

建物は重量が重いほど地震時の揺れが大きくなり、重心が高ければ揺れはさらに増大します。カラーベストは全商品が一般的な陶器平板瓦の約1/2という軽さ。建物の総重量を軽く、重心を低くでき、住まいの減震効果が期待できます。

■陶器平板瓦との本体重量比較 (1坪当りの重さ)



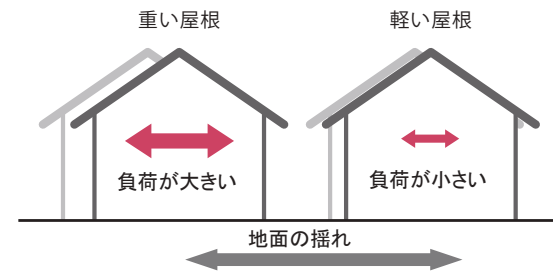
屋根で減震



屋根は軽いほど建物の重量を軽く、重心を低くできるため、減震効果が期待できます。

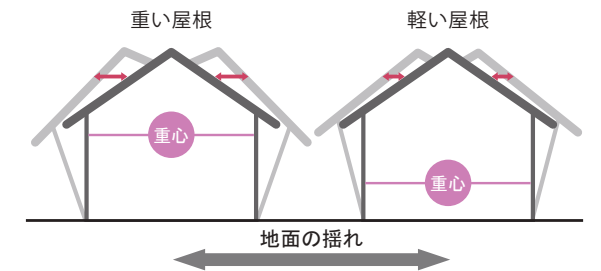
1 建物の重量を軽く

屋根が重いと大きく揺れ、建物に余分な負荷がかかりますが、屋根を軽くすると揺れとその負荷を小さくできます。



2 建物の重心を低く

軽い屋根で建物の重心を低くすれば安定感がより高まるため、地震時の建物の揺れ幅を小さくできます。



※屋根の重量だけが違う同じ建物に同じ加速度の力を与えた場合、建物にかかる負荷や揺れの違いをイメージしています。

■暴風・豪雨の影響を受けにくい設計

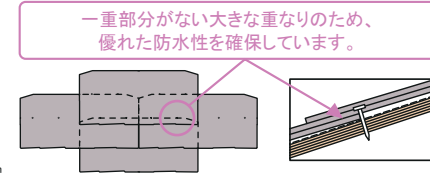
屋根材の大きな重なりと下葺材で豪雨でも漏水を抑えます。

カラーベストは屋根材で一次防水を、下葺材で二次防水する2段階の防水設計。屋根材裏面に浸水した場合でも、下葺材で野地板への浸水を防ぎます。

■防水試験 (社内試験)



【実験条件】
● 放水量: 240mm/hr
● 風速: 30m/s
● 試験時間: 10分間
● 面積: 約2㎡
● 4寸勾配、流れ長さ2m



■防水試験結果

品名	表面への漏水量	備考
カラーベスト	微量	—
セメント洋瓦	多	ジョイント部より浸入
陶器瓦	多	ジョイント部より浸入

防水試験結果はあくまでも性能評価の目安です。台風などの自然の風とは異なります。※ケイミー屋根材には高い防水性がありますが、2次防水としての屋根下葺材は必ずご使用ください。

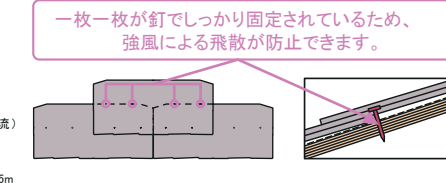
屋根材の一枚一枚を釘で固定して、ズレや飛散を防ぎます。

一枚一枚の屋根材を4本の釘で固定する釘留め方式で、強風による屋根材の飛散やズレを最小限に抑えます。

■耐風試験 (社内試験)



【実験条件】
● 風速: 20m/s~60m/s (整流)
● 試験時間: 10分間
● 面積: 約4㎡
● 4寸勾配、流れ長さ2.5m



■耐風試験結果

品名	フラッターリング=風によるバタつき				
	20m/S	30m/S	40m/S	50m/S	60m/S
カラーベスト		異常なし			フラッターリング
セメント洋瓦※		異常なし	フラッターリング		飛散
陶器瓦※	異常なし		フラッターリング		飛散

風速60m/sの試験でも飛散しませんでした。

耐風試験結果はあくまでも性能評価の目安です。台風などの自然の風とは異なります。※瓦の種類によって耐風性能は変わります。※耐風基準は別途建築基準法に準じて設定しております。詳しくは、屋根材総合カタログをご参照ください。

※光線の具合により商品の色の見え方が異なります。また印刷物と実物では色柄が異なります。現物の商品サンプルなどで確かめください。